

きずな

2011年 3月 3日

NO 828

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

2月28日、井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月22日までの23日間です。28日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で、新年度の市政運営の基本方針と主要施策の大綱を話しました。その内容を今週と来週でお知らせします。

本市の平成23年度の予算案については、財源確保が厳しい中であっても、「井原市第6次総合計画」を着実に推進するとともに、私の2期目就任後初めての予算として、公約であります「健康寿命日本一を目指して 誰もが健康で笑顔あふれる、住みよいまちづくり」を実現させるため、6つの「住みよいまちづくり」を施策の柱に掲げ、積極的な予算編成を行ったところです。

中でも、本市の将来を担う子どもたちを、「いばらっ子」と名付け、育成のための施策を重点的に予算化したことから、特に教育費については、前年度当初比85.2%増の大幅な増加となっています。

また、「活気あふれる住みよいまちづくり」のためには、景気が低迷している今の時期は地域の活性化に取り組む必要があることから、厳しい財源の中であっても予算規模を確保したところです。

その結果、一般会計予算額を193億6,800万円とし、前年度当初比12億1,800万円増、6.7%増の大型予算を編成したものです。

また、特別会計は、国民健康保険事業など9会計で128億9,433万円、水道、病院、工業用水道の企業会計では、38億2,899万6,000円を計上しており、合わせて平成23年度の予算総額は360億9,132万6,000円となっております。

それでは、施策の基本方針につきまして、「井原市第6次総合計画」の前期基本計画に基づき、順次申し述べてみたいと思います。

心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

学校教育 ◆少人数指導等きめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力を向上させるため、新たに「いばらっ子伸びる学力支援事業」として、非常勤講師を配置します。◆小学校の外国語活動及び中学校の英語科において、より実践的コミュニケーション能力の育成に向けた授業を展開するため、ALT、いわゆる英語指導助手を増員します。

学校施設の整備 ◆耐震化事業を最重点に実施します。◆小学校では、校舎や体育館の10棟。◆中学校では、校舎や体育館の6棟の合計16棟の耐震改修工事を実施。◆校舎や園舎、体育館の合計9棟の補強計画・実施設計を予定。

安全・安心な教育環境の整備 ◆出部幼稚園の園舎改築工事。◆井原小学校のプール改修工事。◆井原中学校北校舎の屋根防水工事。◆荏原幼稚園の園舎整備設計。



社会教育の推進 ◆地区公民館を計画的に整備します。稲倉公民館の建設予定地の造成並びに設計に取り組みます。◆危機管理面から、全ての地区公民館にAEDを設置します。

井原図書館 ◆耐震補強工事と太陽光発電設備の設置を行うほか、ブックスタート事業の展開や蔵書の充実を図ります。

スポーツ活動の充実 ◆引き続き、競技力の維持向上と選手の育成強化の支援を行います。

施設整備 ◆「健康づくり・体力づくり・仲間づくり」の場として、四季が丘団地福祉施設用地へ、グラウンド・ゴルフ場を整備します。◆井原体育館の耐震改修工事等の営繕工事を行うこととしており、安全・安心な施設環境の充実に努めます。

地域文化の振興 ◆井原市にゆかりのある偉人をデータベース化し、本市の文化財と合わせてインター

2面につづく

1面よりつづく

ネット等で市内外に広く周知することにより、郷土に対する愛着や誇りに思う気持ちを育てていきます。
◆市民の芸術文化活動への支援のほか、文化財センターにおいて文化財講座や体験学習を開催するなど、歴史の中から郷土を見つめていただけるよう努めます。

田中美術館 ◆夏の特別展として、「浮世絵名品展」を、また、冬には「第25回平櫛田中賞受賞記念展」を開催し、日本伝統芸術と彫刻の魅力をご堪能いただけるよう企画します。

いつまでも健康ではつらつと生きるまちづくり

健康寿命の延伸に向けた取り組み ◆従来から行っております「笑って健康元気アップ事業」に、食育を啓発する「笑顔の食卓パワーアップ事業」を追加し実施します。◆乳がん、子宮頸がん検診の一部無料化を継続実施します。◆新たに、胃がんと大腸がん検診の一部無料化を行い、市民の健康づくりを支援します。◆「いばらっ子」の元気を応援するため、子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種費用助成を引き続き行います。◆子ども医療費については、通院費の対象を「小学校3年生まで」から「中学校3年生まで」に拡大し、子どもたちの健やかな成長を支援します。

障害者福祉 ◆平成24年度から26年度を計画期間とする「井原市障害者福祉計画・障害福祉計画」を策定します。◆本庁舎と井原体育館のそれぞれ一カ所のトイレに障害者用の折りたたみ寝台を設置します。◆各種の自立支援事業や地域生活支援事業を実施し、障害者福祉の推進に努めます。

高齢者福祉 ◆いきいきデイサービス事業や軽度生活援助事業、寝具類乾燥消毒サービス事業等の実施により、高齢者福祉を推進するとともに、平成24年度から26年度を計画期間とする「第5期 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定します。

井原市特別養護老人ホーム星の郷 ◆昨年の9月から市直営で運営してきておりますが、平成24年度からの指定管理に向け、指定管理者の選定・決定を行うとともに、円滑な移行に努めます。

児童福祉 ◆保育ニーズの多様化に対応するため、引き続き、乳児保育、延長保育、一時預かりなど保育サービスの充実に努めます。◆児童クラブの安定した運営を図るため、指導員確保に対する支援を行います。

地域医療体制の充実 ◆市民病院の医師確保においては、私と山田院長とで、再三、大学並びに関係医療機関から当病院への派遣要請をしており、非常勤医師であります。昨年より外来・検診・手術等において、外科医師や整形外科医師が確保でき、また、麻酔科医師の応援も得られるなど、常勤医師の診療負担軽減や診療充実となっています。そしてこのことは、今後、常勤医師への確保につながるものと大いに期待しています。しかし、市民病院の運営においては、まだまだ課題もあり、今まで以上に、私をはじめ、院長以下病院スタッフが一丸となって経営改善に取り組んでいきます。

美しい自然を未来につなぐまちづくり

河川の自然環境保全 ◆小田川を市民の憩いの場とするため、市民との協働により、河川敷の伐木や草刈などを行い、河川の自然環境保全に努めます。

環境対策 ◆CO₂削減対策として、太陽光発電システム及び太陽熱温水器設置費補助を引き続き実施し、太陽光の利用促進を図ります。◆資源ごみの収集日を拡大するとともに、祝日収集を実施する収集体制の拡充を図ります。

限りある資源を大切に利用するため、ごみ減量化推進補助、資源回収推進団体補助等を、引き続き実施し、環境負荷の少ない資源循環型のまちづくりを進めます。



次週第829号へつづく

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)